

「住宅・木材振興表彰」受賞評価内容

林野庁長官賞

3
団体

(株) キーテック

これまで技術開発が難しいとされてきた国産材小径木のB材及び間伐材などから大断面の構造用LVLの製造技術を開発し、その利用・実用化において原材料を消費地域より確保するなど地産地消を推進し、一般住宅をはじめ木造公共施設、コンビニエンスストア木造店舗などに広く活用しており、その製造技術開発・利活用及び実績等を高く評価。

(株) 玉山製材所

県産の間伐材の活用促進、治山等堰堤建設における景観の維持に配慮した「堰堤の残存型枠はめ込み式木製化粧パネル」を開発し、県内外から公共資材として広く活用されているなど、公共建設資材としての地域材利用技術として高く評価。

協同組合 レングス

利用されにくい中目材、間伐材を有効活用するためJパネル（国産材3層クロスパネル）を開発し、実用化に向けて壁倍率、防火構造、準耐火構造の国土交通大臣認定を取得するなど、間伐材等の活用推進を図るための木材利用技術開発の取組を高く評価。

国土交通省住宅局長賞
3
団体

(株) 石川工務所

甲州民家を中心とした古民家の現地再生及び移築再生への取組や地域材及び地域の技術・工法の積極的な活用を通じた地域の美しい景観保全に貢献するとともに、大工、茅葺き職人の育成、ワークショップ開催による木造建築の良さの普及等に関しての意欲的な取組を高く評価。

新日本建設 (株)

木材を育った環境と風土の中で使うとのコンセプトのもとで、構造材、造作材、床材などの仕上げ材を含め愛媛県産材100%の家づくりや、自社林から伐採、葉枯し自然乾燥、搬出、製材、住宅建設までの一貫体制による品質管理、コスト削減への取組などを高く評価。

(株) 安成工務店

近県産杉材を柱と梁に使用し、室内も柱や梁を現して見せる「木の家」の地域型住宅の建設を行うとともに、環境共生住宅団地「安岡エコタウン」の開発と、消費者と建築協定と環境協定を提携し、街並みや環境を配慮した家づくりを推進するなどの取組を高く評価。

(財) 日本住宅・木材技術センター理事長賞
4
団体

(株) ディー・エー・シー

地域工務店として木造住宅の普及、地域材の活用、大工技術の継承を促進するため「京都鴨川建築塾」を主宰し、木造建築技術の伝承と人材育成に取り組むとともに木造住宅普及のためのイベント活動、広報テレビ番組製作などの多様な取組を評価。

徳島県木造住宅推進協議会

木造住宅の振興に向けて、徳島県産材の利用促進に向けた「とくしまの家・120」の開発とモデル住宅の建設、大工後継者育成・担い手確保に向けた「あっぱれ棟梁コンクール」、「とくしま木匠塾」の実施、消費者への普及啓発に向けた絵本、ビデオ作成、木造住宅生産・供給システム見学会の実施など多様な取組を評価。

婦負森林組合

地産地消のシンボルとして「NEIWOOD（婦負ウッド）ブランド」の立ち上げ、地域住宅建築システム構築による地域材の利用拡大への取組とともに、ささら板を用いた「高耐震ささら板壁構法」を新たに開発して、軸組壁倍率の国土交通大臣認定を取得し、寺社、公共施設等への活用に向けた取組について評価。

(株) 明城

地域材としての三河材を用いた家づくりをコンセプトに自然素材（無垢材）にこだわる家づくりや地域材の曲げ強度試験、骨組み壁耐力試験及び仕様の異なる3実験棟（スギ板壁、土壁、クロス壁）を建設し室内温湿度、空気質を調査し、消費者等に情報提供して木材の良さのPRに努めるとともに、安城市において「大山町三河材の街」の建設に関わり街並み形成等への取組について評価。